

6) 第8回千葉市コスモス杯

2018 11/6~11/27 青葉の森・ヒルスコート

○ A 【参加組数 96組】 ベスト 16

1	竹村 恵子 三好 佐知子	フ リ ー ト ラ ス テ イ	竹村 恵子 三好 佐知子		
11	川島 美乃 那和 綾子	幕張ベイタウン ト ラ ス テ イ	85	赤瀬 ゆかり 野澤 瑞恵	
16	澁川 知世 山本 道栄	M M T C	赤瀬 ゆかり 野澤 瑞恵	86	
24	赤瀬 ゆかり 野澤 瑞恵	ア ル ド ー ル フ リ ー	84	赤瀬 ゆかり 野澤 瑞恵	
25	川田 香利 三羽 紀代美	T . A S K A	川田 香利 三羽 紀代美	97	
35	長島 幸子 実広 教子	ア ル ド ー ル え る む	82	川田 香利 三羽 紀代美	
40	土屋 智美 池田 つぐみ	K e n ' s 千 葉 フ リ ー	住谷 昌子 馬場 由香	83	
46	住谷 昌子 馬場 由香	フ リ ー 幕 張 G T	97	優勝 赤瀬 ゆかり 野澤 瑞恵	
49	高橋 裕美 清水 美智子	K A M O . C I U b コ ー ス	高橋 裕美 清水 美智子	84	
60	濱口 美千代 永井 恭子	ルネサンス鷹之台 美 浜 T G	86	小倉 智子 山中 奈己	
61	小倉 智子 山中 奈己	ア ル ド ー ル R a l l y	小倉 智子 山中 奈己	86	
72	布山 みち子 固本 祐理子	幕張ベイタウン フ リ ー	85	小倉 智子 山中 奈己	
73	里 清美 田名部 美穂	C r o w s P	里 清美 田名部 美穂	85	
84	石井 公子 安斉 直子	グ リ ー ン ルネサンス鷹之台	83	須田 知子 篠原 真弓	
89	須田 知子 篠原 真弓	イ レ ブ ン R a l l y	須田 知子 篠原 真弓	85	
98	高崎 桂子 高木 智子	サ ン モ ニ	84		

3位決定戦

川田 香利・三羽 紀代美	川田 香利・三羽 紀代美	
須田 知子・篠原 真弓		81



○ B【参加組数169組】ベスト16

1	山崎 麻美 海宝 三鈴	フ リ ー コ ス モ	加藤 真由美 廣田 明子		
22	加藤 真由美 廣田 明子	てにばら幕張 アルドール	82	村上 敬子 斉藤 真由美	
36	三橋 和代 小倉 浩美	さ く ら s p r i n g		村上 敬子 斉藤 真由美	82
37	村上 敬子 斉藤 真由美	ノルトラール Bonds. T. A	85		村上 敬子 斉藤 真由美
49	足立 晶子 広瀬 久美子	アルドール		岡部 美佐子 北澤 久美子	86
61	岡部 美佐子 北澤 久美子	磯辺グリーン 瑞 穂	84	岡部 美佐子 北澤 久美子	
84	松井 信子 篠島 いづみ	トパーズ 瑞 穂		藤田 美佐子 高橋 祐子	85
91	藤田 美佐子 高橋 祐子	本 郷 アルドール	82		優勝 長谷川詩保子 宮山 貴子
103	長峰 晶子 伊東 由香	ひばりW いぶ ぷ り		町田 みどり 宮ヶ原さおり	81
113	町田 みどり 宮ヶ原さおり	I C P T フ リ ー	85	鈴木 朋世 實 陽子	
129	鈴木 朋世 實 陽子	アルドール		鈴木 朋世 實 陽子	82
134	丸山 紀子 市瀬 洋子	さ く ら G l o r y	82		長谷川詩保子 宮山 貴子
151	長谷川詩保子 宮山 貴子	M M T C フ リ ー		長谷川詩保子 宮山 貴子	83
166	山田 葉子 石井 弘枝	フ オ ル ツ ア	80	長谷川詩保子 宮山 貴子	
178	徳力 真理子 石橋 民子	ト ラ ス テ イ		赤木 初美 伊野 道子	84
192	赤木 初美 伊野 道子	ク レ ア オ テ イ ア ラ	84		3位決定
総 評 (担当理事: 関 雅子)			岡部 美佐子・北澤 久美子 鈴木 朋世・實 陽子		
			鈴木 朋世・實 陽子 82		

「第8回 コスモス杯」

AクラスBクラスに分かれて4回目となりました。今回のコスモス杯は前年に比べ参加者が大きく減りました。これは女子連の大会と日程が重なったことも大きく影響していると思われます。NSがいつもの年より多かったことからそのことがうかがえました。来年は多くの方に参加していただけるように、日程を調整できたらと考えています。

とはいえ、今年は比較的天候にも恵まれ（ヒルスでこんなに風がないなんて！）、いつも以上に気持ちのこもった熱戦が繰り広げられました。特にAクラスではレベルの高い、そして気迫のプレーが初戦からみられ、歓声とため息が多く観客が上がっていました。

Bクラス優勝は、長谷川・宮山ペア。宮山さんの強力なストロークを、献身的な守備と精神面で支えていた長谷川さん。試合ごとに息があっていく姿が印象的でした。

Aクラス優勝の赤瀬・野澤ペアは、準決勝を劣勢からひっくり返しての見事な優勝。動きの良さが常に目立っていました。準決勝・決勝はAクラスBクラスともにどれも質の高い好試合で、応援者も多く、大いに盛り上がりました。

また来年も多くの感動と出会えますように。よろしく願いいたします。